

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 17 年 8 月 25 日 (2005.8.25)

【公開番号】特開 2004-57438 (P2004-57438A)

【公開日】平成 16 年 2 月 26 日 (2004.2.26)

【年通号数】公開・登録公報 2004-008

【出願番号】特願 2002-219184 (P2002-219184)

【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 B 6/00

G 2 1 K 5/02

G 2 1 K 5/10

【F I】

A 6 1 B 6/00 3 0 0 D

A 6 1 B 6/00 3 0 0 X

G 2 1 K 5/02 X

G 2 1 K 5/10 M

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 2 月 17 日 (2005.2.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

X 線を発生する X 線源と、

被写体を透過した X 線を検出する X 線検出器と、

前記 X 線源と前記 X 線検出器とを支える支持体と、

前記支持体を回転させる回転機構を有する支柱よりなる X 線計測装置において、

X 線源と X 線検出器の検出面の中心を結ぶ中心線が前記回転機構の回転軸に対して傾いていることを特徴とする 3 次元 X 線計測装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の 3 次元 X 線計測装置において、前記支柱は、前記中心線が被検体の着目部位を貫通するよう支柱を調整させる調整手段を備えたことを特徴とする 3 次元 X 線計測装置。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の 3 次元 X 線計測装置において、前記支持体は、前記支柱により、前記中心線が被検体の着目部位を貫通して回転するよう保持されていることを特徴とする 3 次元 X 線計測装置。